



セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆様へ

6月の金融市場は、Brexit(英国のEU離脱問題)に翻弄されました。月初から中旬までは、国民投票で離脱派優勢が伝わる都度、世界の株式市場は弱含み、逆に投票日直前数日間では残留派勝利を市場が織り込んだ動きで、株価は大きく値を戻していました。そして結果はご存知の通りとなって、当日は世界同時株安が発生し、一日で世界の株式時価総額がざっと300兆円規模逸失したと大騒ぎになりました。それから月末までの1週間は、激情的に下落して安くなった株式の買戻しが続き、金融市場の動揺は一服したようです。

ところで国民投票直後の相場急落は、専ら短期投機筋マネーの瞬発的なラッシュ売りによるもので、決してこの先の経済危機を予知するものでも、その困難度合を正確に反映したものでもありません。

もちろん英国のEU離脱は、EU全体へ大きな影響を与え、英国自体に大きな困難を予測させる大変残念な事象の発生であります。これが必ずや世界経済全体を損なうわけでもなく、グローバル化構造下では、新たな担い手となる代替経済が顕現して、経済活動を継続させて行くはずで、EUの政治的問題がどうであれ、世界の生活者の日々の生活、即ち実体経済の営みが変わるわけではありません。

そして、人間社会はこれまであらゆる危機を、必ずや乗り越えて来ているという歴史的事実を振り返ることが、今こそ長期投資家にとってとても大切なことです。

相場の動揺に共振してしまっただけでは長期投資は、おぼつきません。今回のBrexitは、これからはしばらく不確実な状況が続くでしょうが、私たちの長期投資マネーは長期経済活動に参加しているのであり、Brexitに過剰反応した相場場で勝負しているわけではありません。

「セゾン号」にはちゃんと長期コツコツ資金が入り続けていて、安くなった価格水準をしっかりと買い手として享受しながら、実体経済の成長軌道の中を泰然と進んでいます。

中野 晴啓

ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口 : 03-3988-8668 (受付時間 9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く)

セゾン資産形成の達人ファンド

6月の市場動向

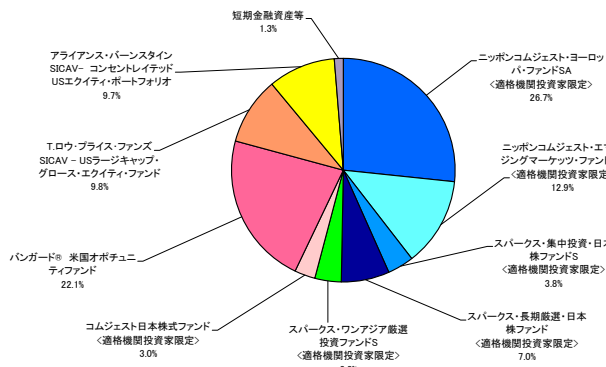
株式：【イギリスの欧州連合（EU）からの離脱が決定的な状況となったことを受けて先行きへの不透明感が拡がり下落】
終盤にイギリスで行われた欧州連合（EU）からの離脱の賛否を問う国民投票で離脱が賛成多数となったことを受けて先行きへの不透明感が高まり、大きく下落しましたが、その後は金融緩和観測が拡がったこともあり、次第に落ち着きを取り戻して反発しました。

為替：【欧州経済の先行きへの警戒が高まった他、米国の利上げ観測が後退したことを背景に対ユーロ、対ドルで大幅な円高】
イギリスの欧州連合（EU）離脱が決定的となったことを受けて英ポンドやユーロが下落したほか、利上げ観測が後退したドルも下落しました。円は金融緩和の拡大観測が後退するなかでリスク回避の動きが強まったことを受けて、大きく上昇しました。

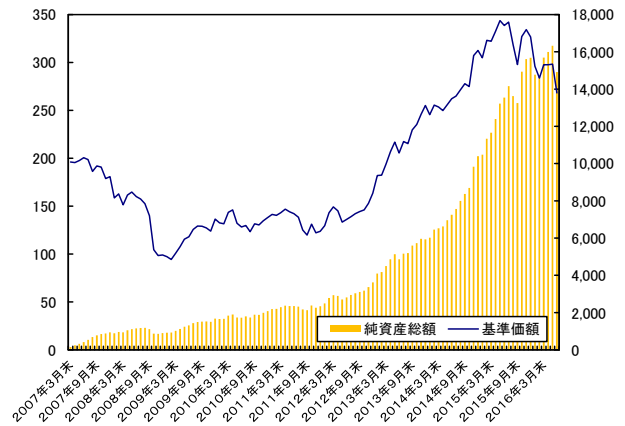
基準価額と純資産総額及び騰落率（2016年6月30日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
13,796円	290.0億円	+37.96%	-10.08%	-17.89%	-20.77%

資産配分状況（2016年6月30日現在）



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



6月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランでのご購入などにより、皆さまからお預かりした資金を利用して、コムジストヨーロッパファンド、バンガード米国オポチュニティファンド、T.ロウ・プライス米国大型グロースファンド、コムジストエマージングマーケットファンド、アライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド、スパークス・ワンアジア・厳選投資ファンド、コムジスト日本株式ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月と変わらず、月末時点で1.3%となっております。

ファンドマネジャーからの一言

終盤に行われた国民投票の結果、イギリスの欧州連合（EU）離脱が決定的な状況となったことで、グローバル化の進展による経済成長を期待してきた投資家の間には失望が拡がり、直前まで残留が選択されるとの見方が優勢であったこともあって、開票当日の金融市場は大きな混乱に見舞われました。その後は金融緩和観測が高まったことや経済への影響を抑える為の取り組みが進展するとの期待が高まったことを背景に、株式市場は落ち着きを取り戻しましたが、為替市場ではドルやユーロが下落する一方で円が大きく上昇したことから、当ファンドの基準価額は大きく下落しました。

投資を続けていく上では、予想もしなかったような良い知らせや悪い知らせに遭遇することがありますが、どのような状況においても、過度に楽観的になったり、悲観的になったりすることなく、様々な可能性があることを念頭に置きながら、長期的な視点を持ち、変わらない姿勢で投資を継続することが重要であると考えております。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な市場の動向ではなく投資対象の価値を重視して株式投資を継続することで、リスクを抑えながら皆様の長期的な資産形成のお役に立てるように努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5832%（税抜0.54%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く）



セゾン投信